

# 1月

## 新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
よむよむかたる	朝倉 かすみ	最年長92歳、最年少78歳、平均年齢85歳の超高齢読書サークル。人の話を聞かないから予定は決まらないし、連絡は一度だけで伝わることもない。持病の一つや二つは当たり前で、毎月集まれていることが奇跡的でもある。なぜ老人たちは読書会を目指すのか。 <b>1月上旬配架予定</b> <b>-第172回直木賞候補作-</b>
藍を継ぐ海	伊与原 新	数百年先に帰ってくるかもしれない。懐かしい、この浜辺にー。人間の生をはるかに超える時の流れを見据えた、科学だけが気づかせてくれる大切な未来。 <b>-第172回直木賞候補作-</b>
飽くなき地景	荻堂 顕	宝刀「無銘」を守り、文化に関わる仕事をしたいと志す治道。「無銘」が渋谷の愚連隊の手に渡ってしまう。刀を取り戻すため、無謀な計画を実行に移すのだが……。 「無銘」にまつわる事件が巻き起こる。刀に隠された一族の秘密と愛憎を描く美と血のノワール。 <b>-第172回直木賞候補作-</b>
昇華 機捜235	今野 敏	警視庁機動捜査隊渋谷分駐所の名コンビ。機捜車のコールサインは235だ。衆議院解散に伴う総選挙が決まった中、SNSに法務大臣・坂本の殺害予行が投稿された。坂本の選挙事務所に潜入捜査。次々に浮かびあがる容疑者たちを懸命に捜査する、さらに新たな予告がー。
サーペントの凱旋 となりのナースエイド	知念 実希人	ナースエイドと外科医の二刀流で働く桜庭澯は、新時代のがん治療装置「オームス」のテストオペレーターとしてハイレベルな手術を一手に引き受けていた。澯と大河は再びタッグを組み、シムネスの驚くべき秘密に迫っていく。
皇后は闘うことにした	林 真理子	さまざまな立場に葛藤する皇族を描いた5つの短編には、読む者を圧倒する”心の内”が綴られる。これまで描かれたことのない、衝撃の短編集。
牧谿の猿 善人長屋	西條 奈加	表向きは善人ばかり、実は悪党揃いの善人長屋に、大事な根付を失くして憔悴するお内儀が訪ねてきた。加助の人助け癖がまた出たと嘆息する一同だったが、その根付がかつて江戸を騒がせた盗賊・白狐の持ち物とわかりー。

<p>三河雑兵心得（15） 関ヶ原仁義（上）</p>	<p>井原 忠政</p>	<p>太閤・秀吉薨去。続く前田利家逝去、豊臣家武断派による石田三成襲撃を経て、いよいよ家康は天下への野心を隠さなくなった。悪巧みは冴え渡り、こき使われる茂兵衛は東奔西走する。</p>
<p>おしりたんてい かいとうUのおとしもの</p>	<p>トル</p>	<p>おしりたんてい事務所に、おとしものを探してほしいと書かれた依頼の手紙が届いた。差出人は、かいとうU。おとしものがあるというウーン荒野に向かったおしりたんていとブラウンは……。</p>
<p>おやすみレストラン ようしょくやさん</p>	<p>misato</p>	<p>沢山のくまたちが食べものを布団や寝袋に見立てて、眠るまでを描いた絵本</p>

**【お知らせ】**

月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」 ■「ESSE」

